

山口 10 景

県内おすすめ見所をピックアップ

その一つ一つに

心に響く景色が待ち受ける

ちょっとした感動を味わいに

ただ静かにその中に包まれに

心の向くまま

その地に出かける

太華山夜景

山口県周南市



県内一の夜景と自負する、周南市太華山から見下ろす、徳山・新南陽地域の街並み。出光製油所の煙突から出る炎は、街を照らす一本のロウソクの様で、どこかほっとさせられる、変わらぬ景色。

櫛ヶ浜駅を過ぎ、下松市に入る手前から太華山方面に向かう。麓の住宅街を抜け、離合さえ困難な道幅の狭い道路を、ひたすら山頂に向け走る。何度と続く急なカーブで、時速は20km弱、時間にして20分の道のり。山頂で待ち受ける、そんな苦勞を忘れさせる景色に、素直な感動を覚える。

鱒石橋夕景 山口県山口市



時は晩秋へさしかかり、日没後の気温の変化が気になり始める頃。いつも見慣れた帰宅の道で、心にしみいる景色に遭遇する。

日が暮れてから数十分、ひと段落した夕焼け跡は、次第にそのともし火を消していく。茜色の空が暗闇と融合を始め、その一瞬に、閉じ込めていた群青の世界を垣間見せる。ただ一つ天空を彩る三日月は、待ちわびたように一層の輝きを放ち始め、これから始まる長い闇に歓迎の意を表す。地上に光の行列がはっきりと浮かび上がった頃、一つの時の移り変わりを実感する。さて、そろそろ家に帰ろうか。その瞬間に立ち会えたことに喜びを噛み締めつつ。

菊ヶ浜夕景 山口県萩市



県内でこんなに大きな夕日を見ることができる場所があるとは・・・、このためだけに時間を費やしても、十分な価値がある。萩に来たなら、観光を夕方まで切り上げ、そのまま菊ヶ浜に足を伸ばしてほしい。萩城跡である指月山に沈む、どこまでもまん丸で、自分を包み込んでくれるような温かな光。

歴史が彩る街、萩。時は違えど、多くの人が見守ったこの景色。悠久の歴史に思いを馳せつつ、今その時に同じ景色を眺める喜びを感じる。

土井ヶ浜海水浴場

山口県下関市豊北町



三方を海に囲まれた、山口県。その中でも、日本海の海は絶品である。そんな中土井ヶ浜を推すのは、透明度の高さ、砂浜の広さ、人加減、設備等総合的に気に入りだから。なにより、白い砂浜と青い海が、たとえ時間をかけてもここを求める、大きな理由。

輝くような太陽の光が辺り一面を照りつけた頃、水着とタオルをバッグに入れて、いつものようにふらりと出かける。借りたゴザを浜辺に敷き、海と向き合い、再び訪れた夏を全身で感じる。母なる地球と芯から溶け合う、その瞬間を味わうために。

千畳敷

山口県長門市日置



空気が澄み切った、冬の季節に訪れてほしい。景色が凜と引締まり、どこまでも遠くの山まで浮かび上がらせる。日本海の荒波に削られた島が、岬が、地上のキャンパスの上に広がっていく。ただ、眺めているだけで、心が満たされる。

また、来よう。自然の中に存在している自分を感じる、その感覚を味わいに。

一の坂川畔 山口県山口市



室町時代、守護大名として周防・長門を支配していた大内氏。応仁の乱後、海外貿易で巨万の富を得、進んで文化の発展に尽くす大内氏のもとに、戦乱で荒廃した京都から多くの文化人が、移り住んだ。西の京と称され繁栄を極めたその本拠地こそ、山口市のここ一の坂界限。当時から流れるこの川は、姿形こそ違えど、その趣を十分に感じさせてくれる雰囲気を持つ。

春には桜並木が続く名所として、夏前には源氏蛍の群生地として、そして全ての季節で、心落ち着く趣きあふれる散歩道として楽しませてくれる。

田床山からの萩全景 山口県萩市



2本の川を両脇に抱える三角州に凝縮された町、萩。町の東に位置する小高い山・田床山からは、その姿をはっきりと一望することができる。

ここで繰り広げられた歴史模様を想像しつつ、町を眺める楽しさ。その先に広がる日本海の景色と共に、しばし時の流れを忘れて、全身でその姿を感じ取る。

錦帯橋 山口県岩国市



日本三大名橋の一つにあげられる、錦川にかかる木組みの橋・錦帯橋。架け替え工事により時代と共に橋の素材は変われども、忠実に再現されるその姿形に、3代目岩国藩主吉川広嘉により架けられた330年前の情景を十分に想像することができる。

橋を渡ると、今も残る城下町を楽しめる。ロープウェイの先にある岩国城から見下ろす岩国全景も、当時を想像しつつ楽しむ、貴重な場所としておすすめしたい。

長府城下町 山口県下関市長府



長府藩城下町として江戸時代を通じ発展した町には、今も残る当時の面影が多くある。長府毛利邸しかり、高杉晋作が維新の転機となる旗揚げを行った功山寺しかり、しっかりとその存在を輝かしている。いくら名所が多くても、それを包み込む街並みこそ最も大事な部分では。そんな思いに十分応えてくれるからこそ、魅力ある街・長府を語らずにはいられない。名所をつなぐ一本の道が、散策の楽しみを倍増させる。

練塀が続く、長府城下町の背骨「古江小路」。これこそが、長府の核じゃないのかとさえ、思えてくる。

秋芳洞 山口県美祢市秋芳



日本最大のカルスト台地である秋吉台。地表には、石灰岩の埋もれた広大な草原地と多数のドリーネ（窪地）を、地下には450を超え東洋一の規模を誇る鍾乳洞を見ることができる。その成り立ちは、約3億5千万年前、海底火山により生じた珊瑚礁が化石化で石灰岩となり、地表に現れた後、雨水の浸食で現在の地形となる。かつて地球上で海の底に位置していた部分が、現在は陸地で丘陵をなしている。このおもしろさ、不思議さがこの土地の魅力で、それを実感しにここを訪ねる。1cmの成長に400年を要し、その形成に幾千万年と年月をかけた鍾乳石の姿に、人間の小ささを思う。